

**寒かったが満足 福島県三島町の“雪と火のまつり”**

「暖かくなったら福島へ行くからね」と言う人がいます。しかし福島（特に会津）に行くのは、やっぱり真冬でしょう。

2月11日、会津にある三島町の“雪と火のまつり”に行きました。寒波の大雪によって、JR只見線は会津坂下一会津川口間は普通。私はバスツアー（500円の買い物券が付いて1,500円）に参加して、会津若松駅前から三島町へ行きました。

“雪と火のまつり”は、三島町にとっては、冬の最大のイベントです。地元の団体の模擬店が20軒ぐらい店を出します。中には姉妹都市である、いわき市四倉町が、“あんこう鍋”を無料で振る舞いました（寒い中だったので、温まって結構腹が一杯になった）

私は手打ちそばを食べました。隣では、地鶏のラーメンがありました。

雪上綱引き大会等の後、舞台では福島の漫才コンビ「パチッコリン」（司会も兼ねる）が出演して、メインは中国北京から来た歌手「KEI」の歌でした。1977年にテレサ・テンが三島町に来たとのことで（何でこんな田舎町に（失礼））、テレサ・テンの歌を熱唱しました。私は、テレサ・テンのファンなので、“愛人”“つぐない”“時の流れに身を任せ”等の歌に酔いしれました。

夜6時から、サイの神への点火が行われました。わらで作った大きな柱（高さ10mぐらい）が2本と小さい柱が3本立っています。これは、「家内安全・無病息災・五穀豊穡」を願う伝統行事です。国指定重要無形民俗文化財にもなっています。真っ暗な雪景色の中で、炎が高く舞い上がると、荘厳な気持ちになりました。

このような豪雪地帯の三島町でも、人々は生活をしています。人々はどのようにして冬を過ごしているのか、考えさせられました（雪かきだけではないだろう）

今年4月21日からは、東武鉄道の新型特急「リバティ」が浅草⇄会津田島間を直通運転します。会津や尾瀬は、福島県浜通りよりも、東京からの方が近くなるのかも。

三島町は、福島県の西部に位置し、尾瀬を源流とする  
只見川沿いにある山間の町です。

十八カ所に集落が点在し、冬は積雪が二メートルを  
超えることもある豪雪地域であります。

古くから「会津桐」の産地として知られ、町内随所に植えられており、  
春には一斉に薄紫の花を咲かせます。

また只見川に沿ってJR只見線が走り、  
溪谷と鉄道が織り成す四季折々の風景を見ることができます。

雪国ならではの民具作りの知恵や、暮らしに根づく

民俗行事が継承され、町民が守り継いできた文化を

大切に作る町づくりを展開しています。（三島町公式HP）

【中国人歌手「KEI」—テレサ・テンの歌を熱唱】



【「家内安全・無病息災・五穀豊穰」を願って サイの神への点火】



【原発被災地を巡るツアー】（いわき駅集合・解散、費用約1万1千円）

（第2回）4月15日（土）～16日（日） 1泊2日（被災地と桜）

（第3回）4月22日（土）～23日（日） 1泊2日（被災地と桜）

（第3回）5月20日（土）～21日（日） 1泊2日

参加希望者は 上田 まで メールか携帯で（☎090-5300-4664）